

○ 防犯灯寄贈について

例年、春秋の二回にわたり東北電力より防犯灯を寄贈されておりますが、今期は二〇W一灯式十一灯と省エネ型自動点滅器四十六ヶの寄贈をうけました。二〇W一灯式の蛍光灯では暗すぎるというので申込みを取消す町会もあり、結局次の町会へ寄贈された。

八甲田大橋、唐橋、曙町、葭町、古館、孫内、新城上町、大坂第一、西上古川、野内、西浦町、以上十一町会

点滅器の方は、購入希望で申込みのあった町会へ無料で贈り、残部は、これからの新設町会へ贈る予定である。

○ 街路灯器種についての研修会

6/20 於東北電力電化教室

出席者 当会建設部員外

電力側 郡司所長、高橋課長、佐藤係長

研修テーマ

『なぜ、低力率の灯具が高力率の灯具より電気料金が高くなるのか。』同じワット数でも、低力率の料金が高くなる理由については、建設部員も説明できなかったが、研修会では、東北電力の佐藤係長の説明で理論的な面からと、実際に、両器具にスイッチを入れて、消費電力をメーターにあらわし、実証してみせたので、よく理解できた。なお低力率型は暖国向きであり、高力率型は寒国向きであることや、高橋課長からは需要家料金の意味や、公衆街路灯と防犯灯のことばの概念規定についての説明がなされ、郡司所長からは、現下の電力事情についての説明がなされた。

○ 北螢沢町会誕生

町会長氏名 成田篤郎、現住所 駒込字螢沢一―一四

組数 五 世帯数 四一 電話(四一―〇五一六)

所属 東部第十区連合町会

これで市内の町会数は、三四〇町会となった。

○ 冠婚葬祭の合理化ポスターできる

二種類つくり、一つは葬儀会場用の文字だけのもの、他の一つはデザインした一般PR用の四色刷で、会場用のポスターは、実施団体からの希望により配布(二〇〇枚印刷)、一般PR用のポスターは全町会へ配布の予定(一、二〇〇枚印刷)

○ ポン引きに悩む青森駅前地区

駅前地区は、警察庁指定の盗犯防止重点地区であるが、夜ともなればノミヤのポン引きが群がり、県外客に迷惑をかけ、地元客は寄りつかなくなり、真面目な業者はあがりだという。七月三日、駅前地区防犯協会の総会後の懇親会で、ホステスの一人は「家でも店をもっているが、客がよりにつかなくなったので、十八年間住みなれた町だが近く転居するという」。「明るく住みよい町」に程遠い話である。よごれた青森市の表玄関で多数のねぶた観光の客を迎えるのは、恥かしい限りである。警察、防犯協会、町会ともに手をくんで根絶したいものである。弘前駅前では成果をあげているのに、何故、青森駅前では成果があらがないのだろうか。

伸	言
町	連

● 幹旋品の出足好調

三十周年記念事業の諸経費捻出のため、各町会長さんのご協力を仰いでおりますが、只今のところ好調で秋までには目標額を達成したいと思っております。今後ともご協力をお願いいたします。

なお、一部の町会から収益はすべて記念事業に吸い上げるのか、と問い合わせもありますが、町会へは従来どおりの収益を計上の価格に納めておりますので、誤解のないようお願いいたします。

● コミュニティづくりの申請文書はまとめて

市(総務課)へ提出するコミュニティづくりの計画書と実績報告書はすべて地区の連合町会長が取りまとめて提出することになっております。町会長が個々に提出しても受付けません。

なお、街灯の経費は、別途に補助金が交付されているので申請書には記入しないでください。

● 各種町会行事への出席について

各町会より定時総会やら運動会、敬老会等で当会長宛に案内状をいただくことがあります。三四〇町会にもなった今日、一々出席してはからだもつつかないし、副会長もそれぞれ定職あるのご厚意は大変ありがたいことだが、出席できかねるのが実情。但し、創立〇〇周年記念式典等にはできる限り出席することになっている。事情ご賢察の上、あしからずご諒承ください。

● ゴミ収集所の移動は手続をふんで

ゴミ収集所を勝手に移動したり、ふやしたりしている町会があるようですが、市の収集作業にも支障をきたすので、必ず市清掃二課へ相談の上、正規の手続きをふんで移動させてください。

● 黒梓広告と連絡について

東奥日報朝刊に毎日のように死亡広告がならんでいる。中には知人の名もあり、時には町会長の名もみえることがある。町会長の場合、規定により弔旗、香典、弔詞を贈る。市からは弔詞と香典ができる。ただ、事務局では三四〇名の町会長氏名を暗記しているわけではないので町会名ができるか、副会長から連絡ないとなかなかわからないし、今迄にも連絡してくれたことは少ない。昨年は市でもわからなかった。香典も弔詞も出なかった例があった。最近では毎朝、まず新聞は黒梓から目をとおすが、私の日課になっている。



● 故米町町会長 齊藤末三郎殿(七十六才)

五月二十四日永眠、米町町会は、明治三十五年四月に結成された青森市では一番創立の古い町会である。

故人は十年來町会長をつとめられ、家業は代々からの油関係の会社を経営、最近入院中であつたが、肝臓がんの冒すところとなりついに永眠された。心からご冥福を祈ります。

また、ねぶたの季節がやってきた
冷たいヤマセ明けに津軽人の血が
騒ぐ季節でもある。

跳ねいまま生命燃やして
舞い狂う

(K)

